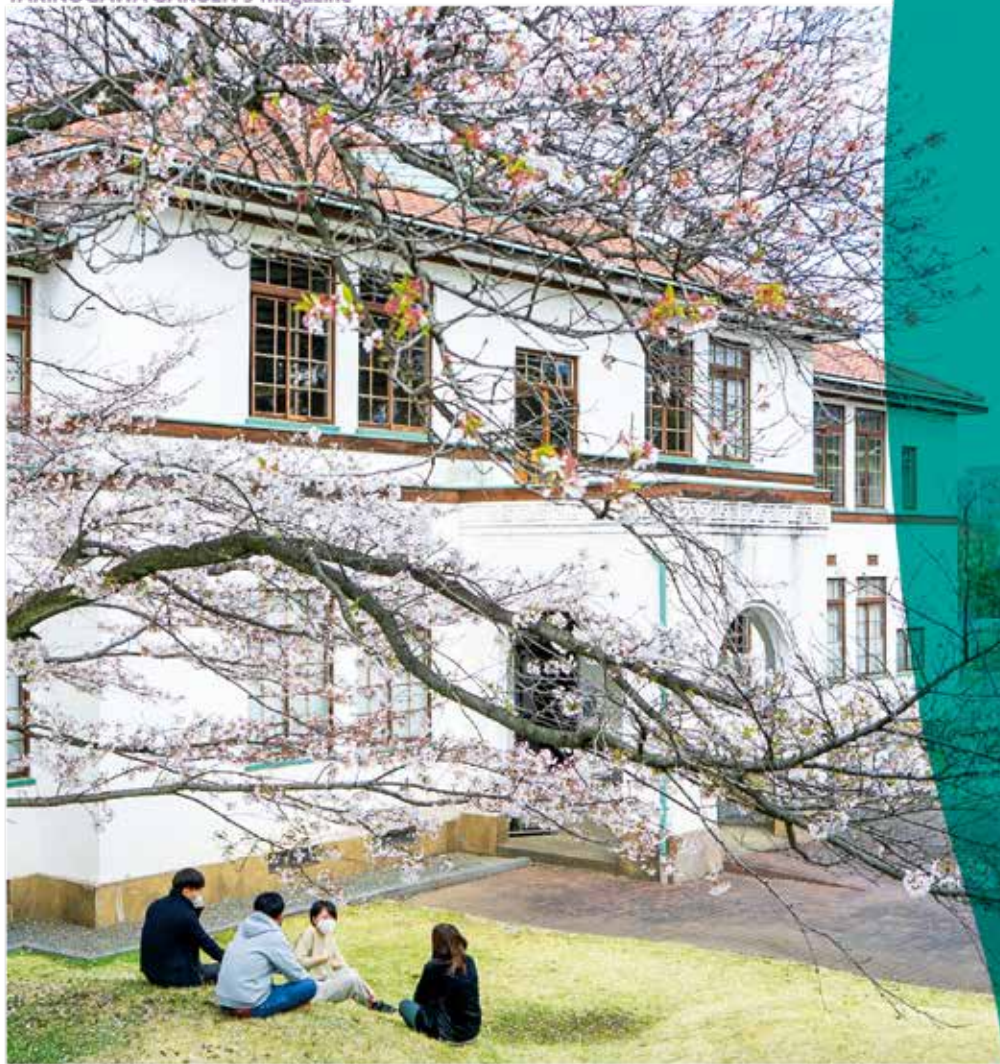




矢川だより

特集

滝乃川学園ガーデンプロジェクト



No.127

2022.04.Spring



矢川 の ひと



スマイルプラス代表
木村 智子（きむら・ともこ）

ランドスケープアーキテクト&コミュニティガーデンコーディネーター。まちのあちこちでのコミュニティガーデン&公園づくり…その派生としてのまちづくりをサポート。「それぞれの人が、それぞれの想いを形にする物語と一緒に描き、背中をそっと押すこと」をしています。

みんなで育てる まちに開いたガーデン

実家が花屋で、子どもの頃から植物を介した人とのコミュニケーションは日常の一部でした。大学は造園学科へ、仕事はまちづくりや公園の設計を選び、独立後もいろいろな形で植物と関わる中で、みんなで手入れをして育む「コミュニティガーデン」を知り、特に介護や福祉の現場に取り入れることに可能性を感じました。お庭の植物を介して地域の人との挨拶や会話が生まれたり、小さな畑を作って収穫した野菜と一緒に食べたり、散歩を嫌がっていた利用者さんも「花を見るなら」と意欲が出たり。何よりも、みんなで育んできたお庭が見せる四季折々の様子に、心が動かされないはず不是吗。

初めて「滝乃川学園」を訪ねたのは、「滝乃川学園ガーデン」の設計の相談を受けたとき。敷地内を歩く私に「こんにちは」と声をかける職員さんからは、利用者さんを本当に大切に思っている、優しい空気が伝わってきました。それから、利用者さんとそのご家族、職員さん、そして地域の人々、みんなが大切に思える場所になるよう、丁寧に対話を重ねながら、今の「滝乃川学園ガーデン」の形を作っていました。これから、ここが「誰もが集い、憩える場所」になるよう、みんなで育てていきます。

滝乃川学園は
130年にわたり
外へ門戸を開き続けてきました
これは創始者である
石井亮一・筆子夫妻から
大切に受け継いだ
学園の指針でもあります
学園のお便り「矢川だより」
今号は
この学園の敷地内が
まちの庭のように開かれた
「滝乃川学園ガーデン」を中心に
矢川エリアのにぎわいを届けます



石井亮一・筆子記念館前の広場



学園内外の人たちに愛され続けるガーデンになるように、まずは有志でアイデア出しや、事例を参考にしたイメージづくりを行いました。



空き地だった場所の地面に線を描いたり、それに沿って植物を配置したり、芝生を張ったり.....みんなでイメージを具現化していきました。



特集 滝乃川学園

ガーデンプロジェクト

滝乃川学園の敷地内に、誰でも参加できる、地域に開かれたガーデンがあることを知っていますか？ 地域のボランティア、滝乃川学園の職員、利用者さんと、「ここをどんな場所にしよう」と話し合い、花壇もベンチも芝生の広場も全部手作りのみんなの庭です！

花やハーブの庭、小さな畑にベリーの小道、座ったり寝そべったりもできる芝生の広場。聖三一礼拝堂の目の前に広がる一帯は「滝乃川学園ガーデン」と名付けられ、月

1回の「ゆるゆるお手入れ活動」では、誰もが集い、憩えるコミュニティガーデンとして開かれています。

参加の方法は、「こんにちは」と声をかけるだけ。「ゆるゆるお手入れ活動」の時間内ならいつでも出入り自由です。作業を手伝ったり、草取りをしたり、おしゃべりしたり、芝生でくつろぎながら花を眺めたりと、思い思いに過ごせます。

運営は、学園事務局を中心に、コーディネーターとヘッドガーデン各2名（プロボノ参加）がその補佐をしています。メンバーは学園の職員、地域のガーデナー・農家さんや近所の人など多様。みんなボランティアで、それぞれ自分にできること、できる時間で関わっています。

ガーデンのはじまり

2016年、老朽化して



滝乃川学園ガーデンプロジェクト 見学 & 参加をお待ちしています！

滝乃川学園の中にある500坪ほどの敷地にコミュニティガーデンを作り、学園の内外の人がみんなで協力して、維持管理をしながら、誰もが憩うことができる場所を目指して活動しています。
まずは気軽にガーデンの見学にいらしてください。お待ちしております！

【日時】2022年5月8日（日）、6月4日（土）、
7月10日（日）、8月6日（土）
いずれも10時～15時頃（出入り自由）

【場所】滝乃川学園ガーデン
（正門から入り南へ徒歩2分、聖三一礼拝堂前）

【服装】汚れてもよい服装、靴

ガーデンプロジェクト担当 糸永・高橋（法人本部）

【電話】042-573-3950（9:00～17:00）



その時に出したお便りは、今も毎月発行している「ゆるゆる通信」につながっています。

**開かれた門扉と
ガーデンに込めた思い**

同じ頃、障害者福祉施設の「津久井やまゆり園」で事件が起こり、全国の福祉施設は門扉を閉ざしてセキュリティ

を強化していました。滝乃川学園でも議論されましたが、「地域へ開かれた学園でありたい」という創始者の思いを受け継ぎ、建物のセキュリティは強化しつつも門扉は開き、学園の持つ思いを広げていくことを選択しました。

そうして2017年、「滝乃川学園ガーデン」は、地面

にみんなで白線の設計図を描くところからスタートしました。芝生の広場や、車椅子でも通れる舗道などは、ワークショップで挙がった声をもとに作られたものです。今でも、花や畑のエリア、ベリーの小道や休憩広場などは、過ごしやすいように少しずつみんなの手を加えています。

いた旧成人部の建物を取り壊し、学園の敷地内に大きな空き地ができました。時を同じくして、国立市谷保エリアでミツバチのための「蜜源ガーデン」があった土地が使えなくなることに。そのガーデンで少しずつ譲り受けて育てていたハーブや樹木の移設場所を探していることを、偶然にも学園の職員が耳にしたことがはじまりでした。

新しい建物ではなくガーデンができることに、はじめは戸惑いの声をあげる人もいました。そのため木村智子さんは、まずは学園内外の声を汲み取るワークショップを学園に提案。2016年7月～9月にわたって開催され、「みんなが納得して、優しい気持ちで過ごせるガーデン」のためのコンセプトやイメージを、みんなの意見をもとに決め、職員や利用者のご家族の方へも報告を重ねていきました。

焚き火番長は、地元の造園屋のトモさん。



月1回のゆるゆるお手入れの日程や「ゆるゆる通信」は、ブログかFACEBOOKの公式ページをご覧ください。
ブログ [http://garden-pt.blog.jp/]

滝乃川ガーデンの正面に建つ聖三一礼拝堂は、シンボリックに風景の一部となっています。



「ゆるゆる参加できるのが嬉しい」と皆さんが口を揃えるガーデンへの関わり方は自由。各々が好きな時間に来て、好きな作業をしたりしなかったりと、頑張りすぎずにそれぞれのペースで関わっています。



赤ちゃんの頃から親御さんと一緒に参加している子も。水やりが大好き！



滝乃川学園3代目理事長の渋沢栄一の生家は藍農家でした。ガーデンでは「渋沢栄一記念館」からもらった藍の種を育て、夏に藍染め体験をしています。



ヘッドガーデナーの長阪さんと西尾さんがしっかりとガーデニング指導します。



矢川のまちめぐり

自然と農、歴史と文化、人々の暮らしが
ゆるやかに流れる矢川エリアを中心に、
国立のまちをめぐりたくなるスポットを紹介します。

今回のテーマ

根川緑道と
桜のアーチ

根川緑道 (立川公園)

柴崎体育館や野球場、陸上競技場、遊具広場などが点在する立川公園をつなぐ、東西約1.3kmに渡って延びる遊歩道が「根川緑道」です。かつて存在した根川の流路跡に人工的に作られたせせらぎで、立川市下水処理場で高度処理されたきれいな水が利用されているため、水生生物も棲みやすい環境になっています。春先には約500本のソメイヨシノのアーチが緑道沿いに連続し、多くの人がその風景を楽しみに訪れます。



青柳稻荷神社

滝乃川学園の西に位置するこの神社は、国立市青柳や石田の鎮守社。1671(寛文11)年の多摩川の大洪水により流失した青柳島(現・府中市本宿の多摩川南岸)が流出したことで現在地に移住した青柳村の村社でもあります。北側の甲州街道に鳥居があり、当地まで参道が続いています。



◆国立市青柳2・8・32

根川貝殻坂橋

江戸時代、日野の石田村と国立の青柳を結ぶ多摩川の渡し場(万願寺の渡し)へ向かうため、甲州街道から青柳段丘を下る際に通ったのが「貝殻坂」と呼ばれる坂であり、その延長上に架けられたのがこの橋です。根川緑道や多摩川サイクリングコースにつながる橋として、散策する人たちが賑わっています。



◆国立市青柳付近

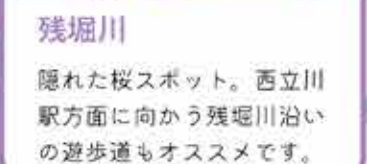
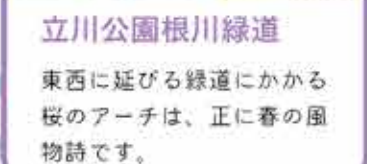
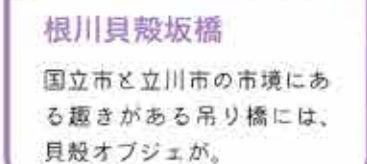
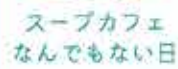
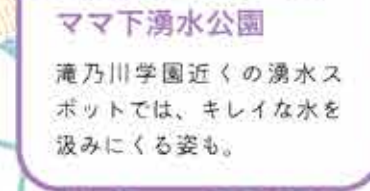
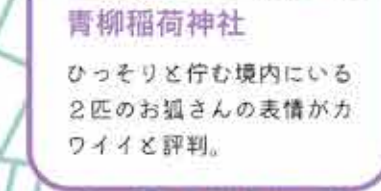
スープカフェ なんでもない日

根川緑道沿いに佇むカフェ。日替わり3種類のスープ(ミネストローネやポタージュなど)には、ご近所の「シロガネ農園」の旬の地場野菜が使われています。軒先では有機野菜の直売も。「ここで散歩がてら寄ってもらえるカフェがしたくて、始めてからもう8年になるの」と、店主の中倉真知子さん。

◆立川市柴崎町4・11・4



- 根川緑道と桜のアーチ -

A teal circular graphic with white text. The text reads "矢川のまちめぐり" (Machigumi of Yaguchi), "- 根川緑道と桜のアーチ -" (Kikyo Ryudo and Sakura Arch), and "MAP". The background of the entire page shows a faint, stylized map of the area.

米川館長の 歴史さかのぼり

石井亮一・筆子記念館
館長 米川 寛

このコラムは滝乃川学園の深い歴史に魅せられ、2009年に記念館館長になった米川さんの歴史をさかのぼるコラムである。

- ① 立教改革の8人
- ② 巢鴨時代の滝乃川学園にて
- ③ 壮年期の8人



その2 石井亮一と3枚の写真

学園には3枚の写真(右ページ)が保管されている。上段は立教大学校(立教大学の前身)在学時代、左下は壮年期に写真館で撮ったもの、右下は巣鴨に移転した学園で撮ったもので、3枚とも同じ並びで撮っている。まずは人物を紹介しよう。それぞれのカッコ内は後の職名である。前列左から、小林彦五郎(立教女学校校長、聖公会牧師、学園理事)、皆川晃雄(聖公会牧師)、岩佐琢蔵(立教大学学監)、杉浦義道(聖公会牧師、学園理事)、後列左から、杉浦貞二郎(立教大学学長)、名出保太郎(聖公会大阪教区初代主教)、石井亮一、早川喜四郎(平安女学院校長)である。在学中の写真は、『立教学院百年史』にも掲載されており、以下のように説明されている。「当時のミッションスクールは、外国的であり学政の全ては外国人の手にあり、学生達の希望がかなえられていなかった。そのよ

うな時代に学校の改革運動が学生の中から起こった。早川、杉浦(貞)、小林、石井、岩佐らが聖三一神学校の名出、杉浦(義)、皆川の支援をうけ運動した。創立者ウィリアムス主教やガーディナー校長は、熱心な信徒でもある学生たちの希望を受け入れ改革が進められた」(概略)とあり、写真の8人はその時の同志達である。

卒業後は、それぞれの進路で活躍した方々であり、早川や名出は関西在住で全員が集まる機会はそうはなかったと思われるが、社会に出た後にも同じ並びで写真を撮るほど強いつながりがあったのである。中でも、小林と杉浦(義)は交代で学園の礼拝を受け持ち、多くの学園関係者に洗礼を授け、理事として終生学園を支えてくれた。

学園が戦前の厳しい社会情勢を生き抜き、130年にわたり事業を継続できたのは、亮一の姿勢に共感し、支えてくれた人たちがいたからである。

滝乃川学園ではたらく

2022年度新入社員研修

インタビュー
by
国立人



加藤 花梨さん
みんなに頼られる存在
になりたい！

伊藤 友里香さん
言葉を越えたコミュニ
ケーションを大切に！

小野 愛華さん
慣れずにずっと最初
みたいな気持ちで！

星野 利佳さん
笑顔で何事にも
挑戦したい！

子どもから大人、高齢者まで幅広い人に向けた支援を行う「滝乃川学園」では、日々利用者さんと触れ合う職員に向けた研修も充実しています。今回はそんな新人研修をご紹介します。社会人としての基礎知識から、福祉の専門的知識まで、幅広く身につくような講義を行っています。

■3月中旬
社会人の基礎知識
オンライン受講

学卒の新人職員を対象に社会人の基礎知識を学ぶ機会を設けています。

■3月28日～30日
東京都移動支援従業者
養成研修（3日間受講）

ガイドヘルパーとしての基礎知識を身につける研修です。3日間の受講終了と同時に「移動支援従業者」の資格取得ができます。障害児者の福祉の制度やサービス、障害児者の心理など専門的な知識や移動支援に必要な支援方法などを学びます。

「利用者さんに寄り添う支援のため、ガイドヘルパーは欠かせないと感じました」（加藤）



園の長い歴史に引っ張られずに、支援は新しく変えていかなければならない」という言葉が印象的でした」（星野）

■5月～9月
（月1回・第2金曜日午前中）
専門知識について学ぶ
相談支援専門員、心理士、看護師の方々を講師として招き、構造化支援や応用行動分析、緊急時対応など各分野のエキスパートから直接、専門知識を学びます。



「国立市で使える制度や、座学や実習では得られない移動支援の危険性など、実践につながる知識を得ることができました」（小野）

■4月初旬（2日半）
滝乃川学園について学ぶ

滝乃川学園をあらゆる視点から学びます。（組織論・事業概要・就業規則・滝乃川学園の歴史・AEDの取り扱いなど緊急時対応）

「昔ながらの価値観を持ち続ける施設が多い中で、『学



「現場に従事する講師の方々から語られるエピソードには、大学の先生からは学べないくさんの情報量と臨場感がありました」（伊藤）

■その他
職員向けの様々な研修を用意
メンタルヘルス研修（秋開催予定）や、利用者の権利について学ぶ権利擁護研修など、一年を通して様々な研修を受け、専門知識を深めることができます。

私たちと一緒に
働きませんか！

支援員・理学療法士・看護師 募集中

詳しくはホームページをご覧ください。
見学等、随時受け付けています。

（法人本部 総務人事部 042-573-3950）

矢川あたりの 鳥たち 虫たち



写真・文：佐伯元行

カワセミは「川の宝石」とも呼ばれる、水辺に生息する小鳥です。英名の「キングフィッシャー」の通り、水に飛び込んで魚を獲ります。滝乃川学園周辺では、南側のママ下湧水・府中用水や学園内を流れる矢川沿いでよく見られます。春には、学園の南側の崖下にある池付近で、繁殖にチャレンジしている姿も観察されます。

滝乃川学園の感染症対策

滝乃川学園の入所の利用者には基礎疾患をお持ちの方、年齢の高い方が多く在籍しているため、特に利用者への感染を防ぐという事を最大の目的に対応策等を検討し進めています。

- 「新型コロナウイルス対策本部」において対策会議を頻繁に実施し、情報共有・発信、臨機応変な応援体制を整理。
- 各事務所での感染対策の実施・保護者への通知。
- 入館票の設置による来園者情報の管理。
- 緊急事態宣言・まん延防止期間の職員への会食等の自粛の周知徹底。
- 時差通勤やリモートワークの実施。
- 職員へのマスク・手指消毒液の配布。
- 感染者発生時も事業継続可能になるよう学園BCPを作成。
- ボランティア受入を園内清掃など間接的なものに限定。
- 発熱者が出た場合の支援のための専用棟を用意。
- 利用者に対応する職員のための宿泊部屋を用意。
- 入所部門（児童部・成人部・GH部）での週1回のPCR検査実施。自宅待機となった場合、速やかな復帰に向けての抗原検査の実施。
- 感染症専門家による学園巡回や専門家指導の元による感染症対策研修動画の作成・動画研修の実施。



- 感染症対策に必要な備品の備蓄。また、東京都社会福祉協議会からの依頼を受け感染症対策備品の保管、必要とする事業所への配布を実施。
- 新型コロナワクチンの職域接種の実施。

介護福祉士って何？

介護福祉士

「社会福祉士及び介護福祉士法」にもとづく国家資格で、試験に合格し、介護福祉士に登録した人だけが「介護福祉士」を名乗ることができます。

もう一歩深いサポートのために

資格がほしくて、滝乃川学園で就職3年目に「介護福祉士」を取得しました。資格の勉強を通して、「QOL」「端座位」「側臥位」などの仕事に活かせる専門用語や考え方を知れたのでよかったです。現在は生活支援員として、利用者さんの「あれがしたい」「これやってみたい」「これはいや」などの声を聞きながら、生活をエンジョイしてもらうためのサポートをしていますよ。（常盤幸子/成人部 生活介護部）

資格を取るには？

- 高等学校か中等教育学校を卒業→指定養成施設を卒業→介護福祉士国家試験に合格
 - 介護等の仕事に3年以上就く→実務者研修を修了→介護福祉士国家試験に合格
 - 高等学校か中等教育学校で所定の教科・単位を修めて卒業→介護福祉士国家試験に合格
- などのルートがあります。詳しくは「公益財団法人社会福祉振興・試験センター」のHPへ。 <http://www.sssc.or.jp/>

ご支援のお願い

日頃より私たち滝乃川学園に温かいお心をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。

私たち滝乃川学園は、障害を持つ人々がみずからの幸せを希求できる場を創造、提供し、それを支援する有為な人材を育て、学園の発展のみならず、わが国の障害者福祉のさらなる進歩に貢献できるよう、役職員一同、先駆者としての誇りを胸に、努力していく所存です。

引き続き、皆様のご指導とあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

お振り 込み先

【ゆうちょ銀行】

専用の払込票がございます。必要な方は、お電話またはメールにてお問い合わせください。

【三井住友銀行】

銀行名：三井住友銀行国立支店 口座番号：普通預金 0921148
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

【三菱UFJ銀行】

銀行名：三菱UFJ銀行府中支店 口座番号：普通預金 0002309
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園 理事長 石井慈典

130周年記念寄附について

老朽化した作業棟を建て替える「新棟建設プロジェクト」を職員が中心となり立ち上げました。そこには、地域の皆様と共に過ごせるような場所をコンセプトに夢をたくさん詰め込んでいます。現在、企画準備中ですが、近々みなさまにご案内させていただく予定です。お手間を軽減できるよう、インターネット寄附の導入も検討しております。

引き続きのご支援をお願い申し上げます。

感謝録 寄附者ご紹介

日頃より滝乃川学園に多大なるご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。ホームページにて、令和3年11月1日から令和4年2月28日までにご寄附いただきました皆様をご紹介させていただいております。



滝乃川学園のホームページを リニューアルしました！

2021年12月に創立130周年を迎えて行ったブランディングの一環で、ホームページをリニューアルしました。

滝乃川学園の概要や取り組みについてはもちろん、歴史や自然環境など、滝乃川学園の魅力もお伝えしていきます。ぜひ「滝乃川学園」で検索してください。



滝乃川学園ボランティアを 募集しています！

滝乃川学園では、日中活動支援、余暇活動支援、園内環境整備（除草・落ち葉掃きなど学園内の清掃・整備）・洋裁（ミシンができる方）・ヘアカットなどのボランティア活動をしてくださるボランティアの方を募集しています。

ぜひお気軽にお問い合わせください。

ボランティア担当 矢島・矢本（法人本部）

【電話】042-573-3950（9:00～17:00）

矢川だより

No.127

矢川だより 第127号

2022年 4月発行

発行 社会福祉法人 滝乃川学園
制作 矢川だより編集会議
合同会社三画舎



〒186-0015

東京都国立市矢川三丁目16番地の1

電話 042-573-3950（代表）

メール soumu@takinogawagakuen.jp

H P <https://www.takinogawagakuen.jp/>

